

「フクシマの命と未来を放射能から守る会」  
「福島県南相馬市 大山弘一 様」

## 放射能汚染レベル調査結果報告書

極めて高いレベルの汚染土壌について\*

2012年2月16日

山内知也\*\*

神戸大学大学院海事科学研究科

**概要：**南相馬市にある商業施設から2011年12月21日に採取された土壌から、キログラム当たり100万ベクレルを超える放射性セシウムが検出された。通常、キログラム当たり1万ベクレルを超える放射能密度の放射性セシウムが1万ベクレル以上あれば（1 kg以上あれば）、それは放射性同位元素として扱われる。キログラム当たり100万ベクレルというレベルは、ゴミ焼却炉や下水のスラッジプラントの焼却灰出会ったとすれば、コンクリートに固めても埋設が認められないような高いレベルである。近隣には同様の汚染土壌があたり前のように存在しているが、何ら対策も注意喚起も行われていないとされている。早急な調査と除染が求められる。

**計測機器：**高純度ゲルマニウム半導体検出器／Canberra GC3019

**測定結果：**詳細は添付のとおり（M120120117092715）。

|        |                         |
|--------|-------------------------|
| Cs-134 | 485,252 ± 965 Bq/kg     |
| Cs-137 | 604,360 ± 574 Bq/kg     |
| TOTAL  | 1,089,612 ± 1,123 Bq/kg |



採取時の試料（U8 容器に入っている）

試料は黒っぽい褐色を呈しており、植物起源と思われる断片も混入している。コケ類等か枯れることで濃縮が進んだとも考えられる。100 ml 足らずの容器表面でも表面線量は3  $\mu\text{Sv/h}$  を超えている。人が居住する地域に決して存在してはならない高いレベルの汚染物質である。このような土地に無防備な住民を住まわせてよいとはどうも考えられない。

山内知也\*\*

\* この放射能汚染調査は、「フクシマの命と未来を放射能から守る会」の要請をうけて実施した。計測には神戸大学大学院海事科学研究科「加速器・粒子線実験施設」の放射線計測機器を使用した。

\*\* 658-0022 神戸市東灘区深江南町 5-1-1 神戸大学大学院海事科学研究科 教授